

# 埼玉県営水道長期ビジョン実績評価結果(令和4年度)

## 各実現方策及び取組内容の評価結果

### 【安全】県民生活を支える安全な水の供給

ア. 高度浄水処理の導入	大久保浄水場では関連工事に着手し、また、吉見浄水場では実施設計業務委託を契約した。	概ね順調
イ. 水源から給水栓までの統合的水質管理	水安全計画に基づく水質管理、流域の水道事業者と連携した広域的な水源監視及び原水水質に応じた適切な浄水処理の実施により、水質基準適合率100%を達成した。	
ウ. 水源の水質保全	国等関係機関への水源汚染防止に係る働きかけを行うとともに、水源清掃活動等のイベントを通じて啓発活動を実施した。	

### 【強靱】事故・災害に強い水道の構築

ア. 水道施設の災害対策	大久保浄水場及び吉見浄水場の耐震化が完了した。また、管路更新(耐震化)については、重要路線の調査を実施した。	要努力
イ. 広域的な水運用機能の強化	吉見浄水場拡張関連整備事業の工事を鋭意推進しているが、工法の見直し等により進捗に遅れがみられることから、事業の実施状況に合わせた計画の見直しが必要である。また、最新の水需要予測に基づき、供給エリア再編について検討した。	
ウ. 災害時即応体制の確立	各種訓練を実施するとともに、復旧資材の備蓄管理や水総合管理システムを用いた水運用調整により、災害時即応体制を確保している。	

### 【持続】強固な運営基盤の構築

ア. 水道施設の計画的な更新	アセットマネジメントの手法に基づく計画的な施設更新に資するため、施設の点検を適切に実施した。また、長期的な視点から、浄水場更新計画について検討した。	順調
イ. 施設の有効活用及び施設能力の最適化	変動給水の試行などにより、県水転換率の維持・向上に努めた。また、浄水場更新などの検討とも調整し、施設規模の適正化を検討した。	
ウ. 人材・技術力の確保	企業局職員研修計画に基づき継続的に技術継承を実施した。	
エ. 広域連携の推進	受水団体との技術連携の取組を通じ、連携協定を締結した5市町(R4年度1町追加)に対して技術支援を実施し、受水団体の課題解決を推進するとともに、双方の技術力向上を図った。	
オ. 経営基盤の強化	次期料金算定に向け、資産維持費や長期前受金控除を算定項目に加えた収支シミュレーション等を実施した。	
カ. 環境負荷の低減	効率のよい運転や浄水発生土の有効利用により、環境負荷の低減に努めた。再生可能エネルギー設備の導入拡大を検討した。	

### 【利用者とともに歩む水道】利用者のニーズに応えた事業運営

ア. 水道利用者及び受水団体ニーズの把握	アンケートや受水団体訪問等により、水道利用者・受水団体のニーズの把握に努め、受水団体からの増量要望等に対し柔軟な水運用により対応した。また、異臭味の原因物質を連続監視し、状況に応じて浄水処理の強化を行った。	順調
イ. 利用者のニーズに応じた、より良質な水道水の供給	水質検査結果や水安全計画等をHPで公表するとともに、水質情報については、異常値の検出等があった場合は迅速に受水団体と情報共有した。	
ウ. 水道水の安全、水質に関する情報の適切かつ迅速な提供	県庁オープンデーや荒川水管橋見学会といったイベント等において広報を実施したほか、YouTubeや、下水道局と合同でラジオ放送も活用し、多様な媒体で広報を行った。	
エ. 利用者が理解しやすい広報活動の充実		